

Eye Letter

2014 AUTUMN vol.3

新見眼科



- 食欲の秋！ということで、スタッフみんなで院内屋上バーベキューをしました。
- 当日はあいにくの小雨でしたが、お酒も入りワイワイ楽しく、おいしいお肉を頂きました。
- 普段なかなかない機会だったのでとても新鮮に感じました。
- また次も楽しいイベントを企画したいと思います。

フタバ眼科



- 当院では電子カルテシステムを導入しておりますが、さらにペーパーレス化を進める取り組みをしています。
- 効率よく情報の共有ができ、現在よりも見やすいカルテになり、待ち時間を少なくスムーズに診察を受けて頂けるようスタッフ一同協力し、今準備をすすめています。

レイ眼科クリニック



- イチロー選手を育てたチチローカレー☆
- K O B E三宮・ひと街創り協議会のお手伝いができないかという事で売り上げの一部が募金となるチチローカレーをみんなで食べました。
- オリックス時代に神戸復興へのパワーをくれたイチロー選手のようにパワフルに地域密着！街の皆様の生活のお手伝いをしたいと思います。

メガネ工房ノイエ



- 「レックスバックス」は、ボールや体の接触があるスポーツに取り組むお子様の目を保護するために作られたスポーツ用ゴーグルです。
- 激しい運動にもずれない工夫や、衝撃を和らげる素材の使用、広い視界や顔にフィットするフォルムなど、安全にスポーツを楽しむために欠かせない機能を備えています。度入り・度なし対応可能となっております。
- 詳しくはメガネ工房ノイエ・こどもメガネ専門店ノイエ・キッズ各店にお問い合わせくださいませ。



フタバ眼科が新築移転します

平素よりフタバ眼科をご愛顧頂き、厚く御礼申し上げます。

一昨年、医新会グループでは新見眼科が新築移転しましたが、このたび縁あってフタバ眼科も新しいビルに移転することが決まりました。移転先は現テナントビルの2軒北隣(JR 大久保駅側)になります。現在、基礎工事が始まっており、来夏の完成・移転を予定しています。

2006年10月に医新会グループ2番目の施設としてフタバ眼科の院長に就任して以来、「最高の医療水準」と「患者さまに優しい治療」の二つの理念をめざして頑張ってきましたが、数多くの皆さまに支えられて発展することができました。開業当初は医師1名・スタッフ6名でスタートし、現在では外来2診体制で医師(非常勤も含め)6名・スタッフ19名となり、より一層充実した医療を提供できる体制にまで拡張することが出来ました。

新フタバ眼科では今まで以上に充実した設備とアメニティーを備える施設をめざして建築を進めております。工事期間中は近隣の方々や通院中の患者さまの皆さまにもご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

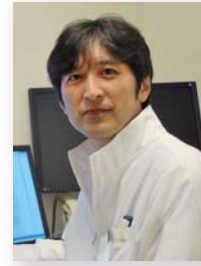


フタバ眼科
院長 春藤 真一郎

病気と治療

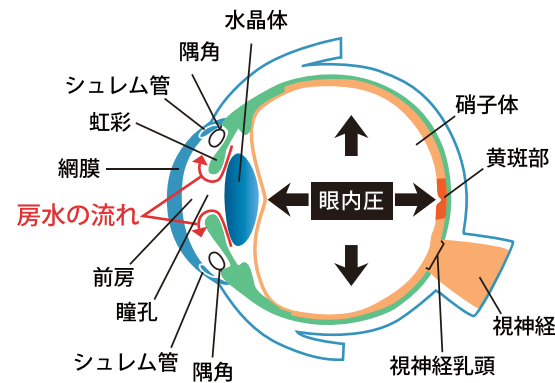
今回のテーマ 緑内障

医新会理事長
新見 浩司 医師



一度進行すると元に戻らない

緑内障は“あおそこひ”とも呼ばれ、視神経が障害されて視野が狭くなり、進行すると失明することもある怖い病気です。眼圧の上昇が、緑内障を発症・進行させる主な要因ですが、近年の調査では眼圧が正常値でも緑内障を発症する「正常眼圧緑内障」の方も増加しています。視神経が構造的に弱かったり、循環障害があったり、遺伝子の異常など、いくつかの原因が考えられています。遠視もしくは強度近視の人、眼圧が高い人、血縁者に緑内障のある人はなりやすい傾向があります。



緑内障は視神経が障害される



進行すると徐々に視野が欠けていく

失明原因疾患のトップ

日本人の失明原因疾患の第1位は緑内障です。自覚症状のない軽症例を含めると、40歳以上の日本人では20人に1人、70歳以上では10人に1人が緑内障と推定されています。

治療で進行を抑える

緑内障はいったん進行すると元には戻りません。これ以上神経が傷まないようにすることで進行を抑えます。現時点では眼圧を下げるのが最も有効な治療方法です。眼圧を下げるには点眼薬、レーザー治療、手術などの方法がありますが、まず初めは点眼薬を始めるのが一般的です。薬にも様々な種類がありますので、患者さんの病状や体質にあわせた薬を選択します。薬では十分に眼圧が下がらない、薬の副作用で目薬が使えないなどの場合はレーザー治療や手術により、眼圧を下げる方法を選択します。

早期発見・早期治療が大切

診断と治療方針の決定及び治療後の経過観察のため、視力・眼底検査・造影検査・光干渉断層計 (OCT) 等おこないます。当院では、ハイデルベルグ社のスペクトラリス OCT を用いており、白内障などがあっても高コントラストな画像が得られます。さらにアイトラッカーと自動再スキャン機能を有しているため、患者様の負担を減らし、長期的な眼底の比較・観察ができます。

● 視野検査

静的自動視野計 ハンプリー HFA740

緑内障の早期発見・早期診断が行える視野計です。コンピュータ制御により一定のプログラムで行われるため、信頼性の高い検査結果を得ることができます。



動的視野計 ゴールドマン視野計

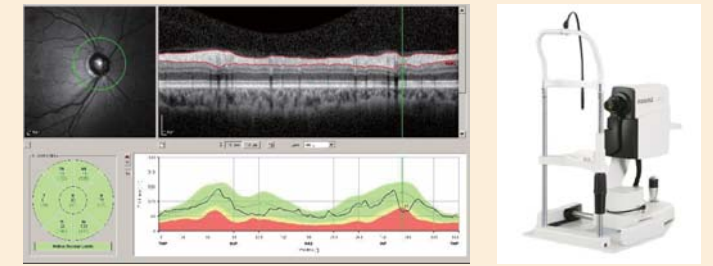
視野全体を定量的に計測します。かなり進行した緑内障や視神経疾患、頭蓋内病変、心因性視力障害などの検査に適しています。視覚障害による身体障害の等級判定にも用いられます。



● 眼底 3次元画像解析

ハイデルベルグ スペクトラリス HRA・OCT

OCTは緑内障の視野変化に先行して起こる網膜神経線維層欠損 (NFLD) などの構造変化を鋭敏に検出できるため、緑内障の早期発見や経過観察に非常に有用です。最高解像度のスペクトラルドメイン OCT と共焦点レーザー走査型眼底検査装置を搭載しており、緑内障だけでなく、加齢黄斑変性等の網膜疾患の診断・経過観察にも極めて高い能力を持っています。医新会グループでは他施設に先駆けて、各施設にこの機種を導入しています。



● 眼圧検査

TONOPACHY

空気圧により非接触で角膜厚と眼圧を同時測定します。角膜厚の違いによる眼圧補正をおこなうことでより正確に眼圧値を把握することができます。



iCare 手持ち眼圧計

無麻酔で眼圧測定できます。角膜への接触がソフトで、プローブが小さく手持ちできるため、お子さまや座位の困難な方の眼圧計測にも適しています。



Goldmann 眼圧計

点眼麻酔をしたあと診察室内で医師が直接目に接触させて計測する器械です。青い光を見てもらいながら計測します。



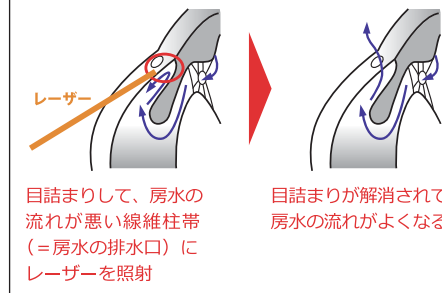
新しい緑内障治療

医新会グループでは下記の新しい治療法を他施設に先駆けて導入し、良好な手術成績を得ています。患者さまの病状にあわせた治療法を選択しています。詳しくは担当医に御相談ください。

SLT (選択的レーザー線維柱帯形成術)

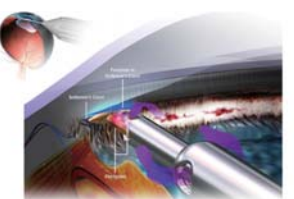
線維柱帯に低エネルギーのレーザーを照射し、排水を改善させ眼圧を下降させます。従来おこなわれていたレーザー治療に比べ、周辺の組織にダメージをほとんど与えないため、繰り返しおこなうことも可能です。治療効果には個人差がありますが、SLTレーザー照射後の眼圧降下により、薬を減らしたり、観血的手術の必要性をなくしたり、遅らせたりできることが期待できます。

レーザー線維柱帯形成術



トラベクトーム線維柱帯内壁切除術 (流出路再建術)

新しい手術装置トラベクトームで電氣的に線維柱帯を切除する手術方法です。従来の流出路再建術 (トラベクトミー線維柱帯切開術) と比べ、結膜・強膜を切開する必要がなく、他の方法に比べて低侵襲かつ短時間で施術できます。



緑内障治療用インプラント挿入術 (濾過手術)

房水の流れを良くするために、フィルトレーションデバイスというステンレス製の器具を前房内へ留置して、房水の流出路を作成する手術方法です。他の治療法で十分な効果が得ることが期待できない場合に選択される方法です。従来の濾過手術 (トラベクトミー線維柱帯切開術) に比べて、房水流出効果が安定しており、合併症が少なく、低侵襲かつ短時間の施術が可能です。

